



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
新任職員紹介	2.3
亀岡市立病院健康講座	4.5
亀岡市立病院感染防止対策への取り組み	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8



ごあいさつ

桔梗が発刊される頃には新型コロナの状況はどうなっているでしょうか？原稿を書いている2021年8月初旬ではデルタ株が全国的に流行し、亀岡でもじわじわ増えてきました。

本来変異株では感染力は上がり、重症率は下がるはずと聞いていたのですが、少なくとも2021年春の流行の主体であるアルファ株では重症化率も高く、かつ突然重症化する特徴がありました。デルタ株でも全国的に軽症と判断されて自宅で経過観察中に重症化する方が多く報道されていますので、軽症化はしていないようです。ただ、ワクチン接種を済ませている方で重症化する方はかなり少ないと予想されています。

また、これまで軽症者に対してアピガンなどを投与してきた今ひとつ効果が実感できないでありましたが、ある程度年齢が高く、基礎疾患をお持ちであるなど重症化リスクが高い方に限られますが、軽症から使用でき、重症化を7割防げるという抗体カクテル療法が認可されました。ワクチンを受けずに罹患された方でも早期に使用するとかなり効果がある実感があり、医療逼迫解決の切り札になると期待しております。

また、当院では医療スタッフの自発的な取り組みとして通常勤務外にワクチン接種を土曜も含めて行っており、労務管理する側としては一部スタッフに過重な負担がかかっていることを心配しておりますが、今が踏ん張りどころとがんばっております。より早く市民が普段の生活に戻り、亀岡の観光、飲食業が元気になれるよう市民一丸となってワクチン接種を受け、感染防御をしていきましょう。

亀岡市立病院 副院長 田中宏樹



新任職員紹介

外科



- ①名 前 …………… 吉 井 一 博(よしい かずひろ)
- ②年 齢 …………… 59歳
- ③出 身 …………… 大阪-京都府
- ④得意とする診療内容 …… 消化器外科
- ⑤趣味など …………… 読書、音楽鑑賞

⑥皆さまへのメッセージ ……………

みなさん、はじめまして。2021年4月より亀岡市立病院 外科に赴任しました吉井一博と申します。

1986年自治医科大学卒業で、同年、京都府立医科大学附属病院 旧第二外科—現消化器外科学教室へ入局し、その後、医師になってから30年以上のほとんどを地域医療の第一線の現場で働いてきました。

診療の上で特に心がけているのは、“術前から墓場まで”と関わった患者様を一貫して責任を感じながら診ていくことと、ひとりひとりの患者様に低侵襲で効果の高い治療(手術など)を行っていくことです。

“術前から墓場まで”は主には消化器癌(胃癌、大腸癌等)の患者様に対するスタンスです。昨今は診療の専門機能分化が進み、大病院では、外科は手術治療のみに特化していく流れですが、当院では、手術治療のみならず、化学療法(抗癌剤治療)、緩和治療も一貫して行っていく方針です。

私が外科医になった頃は“big surgeon、big incision”(大きなキズは偉大な外科医の証)と云われておりました。根治性を高めるためにより広範囲に郭清を行う拡大手術の時代でした。21世紀になると拡大手術をしても、根治性が高まる症例は少ないこと、拡大手術をすると合併症が多くなることが

解ってまいりまして、今は根治性を損なわずにできるだけ低侵襲で手術を行おうという時代となってきました。その代表的なものが、小さなキズで手術を行う腹腔鏡など鏡視下手術です。当院でも根治性を損なわずに手術できる場合は積極的に鏡視下手術を行う方針です。

外科で扱うのは消化器癌など悪性疾患以外に腹膜炎など急性腹症(虫垂炎など含め)、胆石症、鼠径部ヘルニア、痔核など良性疾患もあります。これら良性疾患でも手術する場合はできるだけ、根治性を損なわず、低侵襲となるように心がけておりますが、手術は安全、確実に行うことを第一の信条として取り組んでおります。

手術をするにせよ、手術以外の治療(消化器癌の抗癌剤治療、緩和治療、十二指腸潰瘍穿孔や虫垂炎の保存的治療等)をするにせよ、地域に開かれた病院の外科として患者様と近所付き合いをさせていただくような気持ちで、患者様の心身を第一に案じながら、“小さなケガ”から“大きな疾病”まで患者様ひとりひとりに最適な治療を提供できるよう、ガイドライン等に準拠しながらも個別性に配慮した診療をさせていただきます。

看護部



- ①名前 …………… 富士原 幸穂(ふじはら さちほ)
- ②年齢 …………… 28歳
- ③出身 …………… 京都府亀岡市
- ④得意とする診療内容 …………… 看護についてはまだまだ勉強中です
- ⑤趣味など …………… YouTube視聴

⑥皆さまへのメッセージ ……………

私は他病院の消化器内科病棟に5年間勤務し、去年から亀岡市立病院の非常勤看護師として、今年度からは常勤看護師として勤務しています。常勤になり、勤務時間が増えて夜勤にも入るようになり、より患者さんとの関わりが出来るようになったと感じています。

今後も地域の患者さん達に寄り添いながら、私なりの看護を提供していきたいと考えています。少しでも入院中の不安を軽減し、穏やかに入院生活が過ごせるように努めてまいりますので、よろしく申し上げます。

薬剤科



- ①名前 …………… 竹内 敦子(たけうち あつこ)
- ②年齢 …………… 28歳
- ③出身 …………… 京都府
- ⑤趣味など …………… スキューバダイビング

⑥皆さまへのメッセージ ……………

去年9月から勤務させていただいております竹内です。

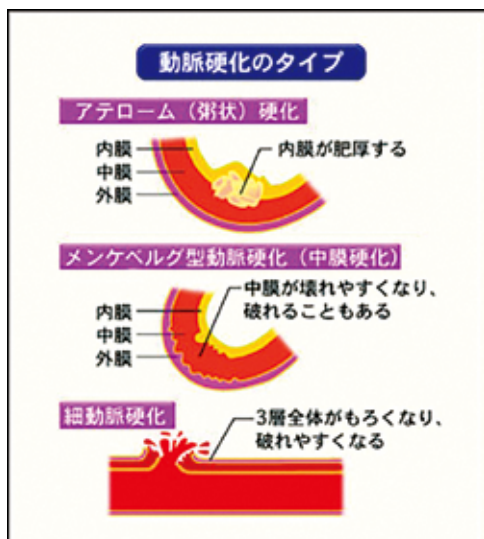
高校時代はダイビングインストラクターになるか薬剤師になるか、かなり悩みましたが、今となっては薬剤師になってよ

かったと思っています。

患者様からも医療スタッフの皆様からも頼っていただける薬剤師になれるように、日々頑張りますので、今後とも宜しくお願い致します。

今回は「動脈硬化」についてお話しさせて頂きたいと思います。まず動脈とは、心臓から送り出される血液を全身に運ぶ血管です。全身に酸素や栄養素をいきわたらす重要な役割を持っており、心臓の収縮に伴う圧力に耐えるために、動脈壁は、内膜・中膜・外膜の3層で構成されています。動脈硬化には粥状動脈硬化(アテローム硬化)、中膜硬化、細動脈硬化の3つのタイプがありますが(図1)、動脈硬化といえば粥状動脈硬化をさすことが一般的なので、粥状動脈硬化についてお話しさせて頂きます。血液中の過剰コレステロールや高血糖によるもの、炎症によるストレス、血流の乱れなど様々な要因により内皮が損傷を受けることで、内膜の下に変性したコレステロールが蓄積し(プラークとよばれます)、動脈が硬くなって柔軟性が失われてしまいます。この状態こそが「動脈硬化」です(図2)。

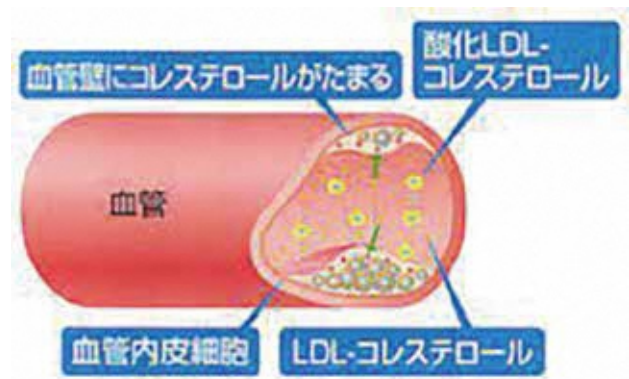
(図1:動脈硬化のタイプ)



(日本医師会 ホームページより)



(図2:動脈硬化の病態)

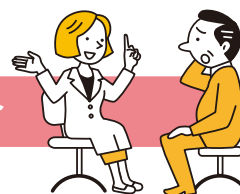


(日本動脈硬化学会 ホームページより)

動脈硬化がさらに進行し、プラークがなんらかの原因で破裂すると、それを修復するために血小板が集まり血栓をつくり、血流が止まった部位によって、心筋梗塞・脳梗塞などの生命を脅かす疾患を引き起こします。動脈硬化はしらないうちに進行しますので、重篤な疾患を発症しないためにも、早期に発見し、後述する危険因子への介入が望ましいと考えられます。

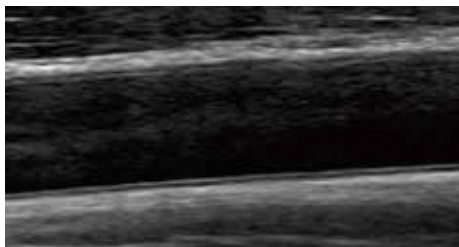


では、動脈硬化の程度をみる検査はどのようなものがあるのでしょうか。動脈硬化の検査としては、血圧脈波、頸動脈エコーの検査が一般的です。血圧脈波は、心臓から血液が送り出されたとき、血管に伝わる波動のような動きとその反射波のことで、いわゆる血管年齢の検査です。頸動脈エコーは、頸動脈のプラークや狭窄の有無を評価します(図3)。これは、動脈のひとつである頸動脈を評価することで、全身の動脈硬化を推測するもので、比較的容易に検査ができることからスクリーニング検査としてよく用いられています。

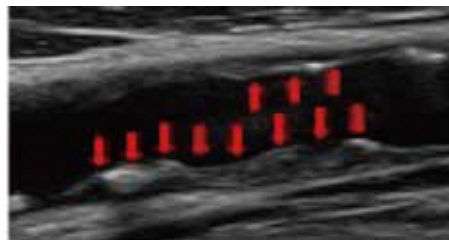


(図3:頸動脈エコー)

動脈硬化のない頸動脈

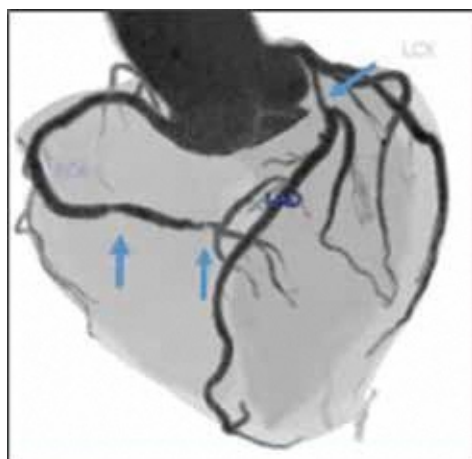


プラークのある頸動脈(赤矢印)



動脈硬化進行にともなう症状がある場合は、心臓、脳、下肢の血管の評価として、CT・MRI検査などにて病変を評価し(図4-1・4-2)、治療方針を決めていくことになります。

(図4-1:心臓CT)



(図4-2:下肢CT)



心臓を栄養にしている冠動脈に動脈硬化による狭窄あり。「狭心症」が疑われる。

下肢を栄養にしている総腸骨動脈に動脈硬化による狭窄あり。「下肢閉塞性動脈硬化症」が疑われる。



動脈硬化を引き起こす危険因子には、「男性」「加齢」「高血圧」「脂質異常症」「糖尿病」「喫煙」「肥満」「ストレス」がいられています。性別・加齢はしかたのない部分ですが、「高血圧」「脂質異常症」「糖尿病」「喫煙」「肥満」は、食事療法や運動療法、また薬物療法によって改善します。動脈硬化といえば高齢者の病気を想像されるかもしれませんが、40歳頃からはほとんどの人に動脈硬化がみられるといわれています。定期的な健康診断をうけ、家庭血圧を測定するなどして、危険因子がないか把握しておきましょう。健康診断の結果で危険因子に該当するものがあるようでしたら、是非とも医療機関を受診し、担当医にご相談してみてください。



亀岡市立病院感染防止対策への取組み



2020年～新型コロナウイルス感染拡大防止対策の取組を試行錯誤しながら全職員一丸となって進めてまいりました。このページではこれまでの取組をご紹介します。

2020年 2月

発熱者の電話相談開始



発熱相談には多くの方から不安の声が寄せられました

7月

テントでの発熱外来開始

2021年 3月

発熱外来棟での発熱外来診察開始
院内PCR検査開始

4月

新型コロナウイルスワクチン
医療従事者接種開始

5月

新型コロナウイルスワクチン
高齢者接種開始

6月

新型コロナウイルスワクチン
接種枠拡大



職員は感染しない・させないことを目標に院内感染制御チームを中心に自己管理の徹底と个人防护具着脱訓練を繰り返し実施しています



希望される多くの方に新型コロナウイルスワクチンが安全に接種できるように、そして、通常医療提供を維持するために全職員がフル稼働しています。どの医療機関も最善を尽くす中で地域との連携も一層密にしております！！

発熱相談のご案内

- 息苦しさ(呼吸困難)強いだるさ(倦怠感)高熱等の強い症状のいずれかがある
- 基礎疾患がある方や高齢者など重症化しやすい方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状がある
- 上記以外の方で、発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続いている
- の症状にあてはまる方は直接医療機関へ行く前にかかりつけ医療機関へご相談ください。



亀岡市立病院 (平日9:30 ~ 11:30) (TEL) 0771-25-7313



★看護師が症状についてのご相談・受診調整をいたします。
発熱者外来は予約制となっておりますので、症状にあわせて翌日以降の受診をお願いする場合がございます。

★外来・入院共に安心して治療を受けていただくために、なお一層の工夫をしながら取り組んでまいります。

外来での入館確認や面会禁止・外出泊禁止などの制限が続きますが引き続きご協力をよろしくお願いたします。

発熱外来受診方法やワクチンに関するお知らせ等、詳細は亀岡市立病院ホームページでも確認していただけます。



当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

コサカ小児科・糖尿病内科医院

院長：小坂 喜太郎

住所：亀岡市古世町西内坪32-1 ラポール2F

TEL：0771-29-2662

標榜科目：小児科 内科 糖尿病内科

診療時間：午前8時45分～12時30分 午後4時45分～7時30分
休診は日曜日・祝日、木曜日午前、土曜日午後

医院より一言

2019年5月に古世町のふじわら小児科内科医院を継承しました。先輩の藤原史博先生の小児、内科患者さんを引き継ぎ、小児科、内科一般診療が中心ですが、京都府立医科大学で経験した、低身長、肥満の患者さんの診療も行っています。安詳小学校の校医もしておりますが、ぽっちゃりした方も多く、小児肥満は将来の生活習慣病にもつながりますので、その予防に努めていきたいと思っております。

亀岡市は生活習慣病検診を行っています。せっかくの機会ですので、ぜひ受診していただき、動脈硬化につながる糖尿病、高血圧、高脂血症予防の指導をさせていただきたいと思っております。万が一、糖尿病を発症されても、食事・運動療法から薬物治療まで、市立病院糖尿病専門医の先生方と連携しながら、糖尿病性腎症から透析導入にならないように、糖尿病重症化予防を行っていききたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。



編集後記

新型コロナウイルスに翻弄され、はや1年半の月日が経ち、ようやくワクチン接種が本格的に始まってきました。ワクチンにはそれなりの効果が期待できると思っております。

いよいよ7月23日からオリンピックが始まりました。連休や夏休みなど人流が増えることが予想されますが、今まで通りの感染対策を続けるだけです。大きな感染拡大なくオリンピックやパラリンピックが終了し、ワクチン接種が順調に進んで新規感染者数の減りはじめる日が1日でも早く来ることを期待してひとり一人が行動に気をつけましょう。

さて、亀岡市立病院健康講座の対面形式での講演はしばらく中止しておりましたが、広報誌「桔梗」などに切り替えリニューアルしていきます。

今後も皆様に役立つ情報を発信して参りますのでよろしくお願いいたします。

広報委員会事務局 織田 史雄(理学療法士)

市立病院公式Facebookはこちらから！
(ぜひページ・記事への「いいね！」をよろしくお願いします！)



外来担当医表 (2021年8月現在)

診療科	月	火	水	木	金
消化器内科	うえ はら ゆきこ 上 原 有紀子	うめ むら あつ し 椋 村 敦 詩	おか だ よし ひさ 岡 田 頼 久	—	岡 田 頼 久
循環器内科	かね こ なる か 金 児 奈瑠香	ふく い けん すけ 福 居 顕 介	すが たか おみ 管 孝 臣	福 居 顕 介	松 尾 龍 平
一般内科	けい ら なつ や 計 良 夏 哉 (第1、3、5週) き むら たい こう 木 村 兌 弘 (第2、4週)	き むら ふみ こ 木 村 史 子 し むら ゆう じ 志 村 勇 司 (予約のみ)	まつ お りょう へい 松 尾 龍 平	まつ もと よう すけ 松 本 洋 典	木 村 史 子 (第1、3、5週) まつ ばら しん 松 原 慎 (第2、4週)
神経内科	—	—	—	うえ だ てつ ひろ 上 田 哲 大	—
糖尿病内科 (予約)	—	はし ちと よし たか 橋 本 善 隆	きた がわ のり ゆき 北 川 功 幸	北 川 功 幸	はま ぐち まさ ひで 濱 口 真 英
ペースメーカー 外来	—	—	—	—	福 居 顕 介 (偶数月の第3週)
皮膚科	—	—	なか にし ま り 中 西 麻 理	—	おか もと ひろ き 岡 本 拓 希
泌尿器科	—	し みず てる き 清 水 輝 記	—	たか だ いっ へい 高 田 一 平 はや かわ けい た 早 川 啓 太	—
外科1診	い むら けんいちろう 井 村 健一郎	担当医	田 中 宏 樹	よし い かず ひろ 吉 井 一 博	井 村 健一郎
外科2診	た なか ひろ き 田 中 宏 樹 (乳 腺)	わた なべ あきら 渡 邊 稔 (乳 腺)	—	—	—
外科 午後(予約)	田 中 宏 樹 (乳 腺)	—	田 中 宏 樹 (乳 腺)	—	—
麻酔科 (パインクリニック)	はし もと とも こ 橋 本 朋 子	—	—	—	橋 本 朋 子
眼科	みや たに たか ふみ 宮 谷 崇 史	担当医	—	宮 谷 崇 史	—
整形外科 1診	く ほ やす おみ 久 保 恭 臣	玉 井 和 夫 (予約外来)	むら かみ こう じ 村 上 幸 治	久 保 恭 臣	村 上 幸 治
整形外科 2診	やま さき てつ ろう 山 崎 哲 朗	山 崎 哲 朗	山 崎 哲 朗	—	—
整形外科 3診	たま い かず お 玉 井 和 夫	なり た わたる 成 田 渉	—	—	—
小児科	てら まち しん じ 寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二	寺 町 紳 二
小児科 午後(予約)	寺 町 紳 二 (循環器科)	寺 町 紳 二 (予防接種)	寺 町 紳 二 (予約外来)	寺 町 紳 二 (循環器・アレルギー)	寺 町 紳 二 (予約外来)

亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する 京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。



JR馬堀駅から徒歩約5分/
 京都縦貫道篠インターから車で約5分/
 駐車(輪)場有